



急傾斜地工法研究会/相取工法協会

研究会だより

Vol.1
2023.8.20

設立総会を開催 急傾斜地工法研究会ら

急傾斜地工法研究会と相取工法協会の設立総会が6月14日、ホテル札幌ガーデンパレスで開かれ、参加26社は急傾斜地災害の防止と安全な施工に向け決意を新たにしました。また、発起人代表の中塚卓朗・伊丸特殊工事副社長が、両会の会長に就任しました。急傾斜地工法研究会は、3月に開かれた設立準備会議を経て、施工業者・コンサルタント・資材業者・機械メーカーの26社が賛同し、この日の設立総会を経て発足しました。また、施工に特化した相取工法協会は、この中から15社で同じく旗揚げました。総会では、会則案の審議や役員・事業計画等をそれぞれ決めた。両会は、難工事の多い斜面防災の社会的課題を解決するとともに、これまで課題となった狭い場所での機資材搬入を、伊丸特殊工事が特許保有した「相取工法」の開放を受け、より安全で有利に搬入する工法として提案していく。中塚会長はあいさつで「伊丸特殊工事の特許を共有財産にし、相取工法の普及が会員各社の発展に繋がればいい。また、土砂災害防止のためにより安全な施工方法を目指すとともに、さらには国土防災減災にも寄与したい」と抱負を述べた。



設立記念講演会も開催

総会に続き急傾斜地工法研究会と相取工法協会の設立を記念して講演会が開催され、設計・施工それぞれの立場から今後の課題を提言した。はじめにエイコー技研の丸山英俊技術部次長が「急傾斜地工法の設計と今後の課題」をテーマに講演。「満点の仮設計画は



役員の選出では、中塚会長のほか両会を兼任する形で、副会長に山根浩山根土建社長、監事に頼所裕之シイナ重建社長が就任。このほか、技術委員会も置き、加賀谷俊明・伊丸特殊工事専務がそれぞれの技術委員長に就いた。また、相取工法協会には理事を置き、中塚徹朗（中塚建設）、草塩広幸（草塩建設）、高橋千尋（高橋建設）、の佐藤太紀（山高建設工業）、山崎裕幸（丸幸ジオテック）、5氏を選出。このほか、里井根郎氏（中塚建設）が事業委員長に就いた。事務局は、伊丸特殊工事内に置き、事務局長に大塩進一・伊丸特殊工事専務を指名した。

第1回現場見学会を留萌で開く

研究会と相取工法協会は7月24日、現場見学会を留萌市内で開催した。現場が施工する「留萌南町4丁目2急傾斜地」は、留萌建設管理部の発注。伊丸特殊工法で請け負っている。見学会に、市道外からも資材メーカー数社が4人が施工中の急傾斜地工事を



長が「多数の皆様にご参加いただき、山高建設工業の入山を説明。加賀谷俊明技術委員



参加者は、昇降階段を上りジブクレーンのそばに近づいたり、H型鋼の足場を確認するなどしながら急傾斜地工事を安全に施工する難しさも感じていたようだった。特に傾斜に張り付くようなジブクレーンの足場をスマホで撮影するなど、これまでに見学する機会がなかった現場を体験していた。

山根浩副会長は「設立総会からわずか1か月ほどで、第一回目の現場見学会を早々に開催でき嬉しい。発注者側にも私たちが何をしているかを理解していただくことは重要だ。次回の見学会も秋には計画なので、機会があるなら是非とも参加を」と呼び掛けていた。

工事名	留萌南町4丁目2急傾斜地崩壊対策工事
工事場所	留萌市南町4丁目2
工期	5月16日～11月30日
受注	山高建設工業 8,723万円（税込）



社目の

田裕
きま